

校 歌

作詞 大 谷 忠一郎
作曲 佐 藤 広 市

J = 100 堂々と元気よく

1. あらしにたけつるのなーつつのよみもれき
4. あ、けいせつのなこーつつのよみもれき

かぜすさぶるふせゆーのよーものぶとんく
かしにかおるふせゆいーけんーものぶとんく

かのひかえりこひうるこかうえーと
をたたかえてこひうるこかうえーと

わがまきよびとやわのにまひーどかーにりてあ
わこうまきよびとやわのにまひーどかーにりてあ

校 歌

- 一、嵐に猛る夏の夜も
雪風荒ぶ冬の夜も
文化の光煌々と
わが学び舎の窓に照る
- 二、晝は職務にいそしみて
夜は撓まぬ勉学に
寸陰惜しむ青春は
学徒われらの誇りなり
- 三、理想は高く身は低く
進まん道はひとつずつに
心は清き白河の
われらは第二高校生
- 四、あゝ螢雪の功績みて
歴史に薫る聖賢の
徳を讃えて翻へる
校旗よ永遠に光あれ



校章由来 昭和25年制定。白河高原に自生する柏の葉で、忍耐強く大きく伸びる知・情・意を三葉で示し、中央に螢の光で輝く雪の結晶を図案化。働きながら学ぶ生徒の螢雪の功を讃え、将来の限りない希望を象徴している。